

校区に広げる「あいさつの輪」

ねがい

〈目的〉

人とかかわりを広げ、その場に応じた言動がとれる児童生徒を育てるために、綾上校区に「あいさつの輪」が広がっていくように、児童会・生徒会を中心とした「あいさつ運動」を継続していくことにしました。

〈内容〉

つながり

● 地域でのあいさつ運動

マナーアップリーダーズや生徒会生活委員会、ボランティアを中心として、毎朝、小・中学校周辺で、あいさつ運動をしています。小学生たちは、中学生のあいさつから声の大きさやお辞儀の仕方などを学んでいます。一日の始まりの元気で大きな声のあいさつが、一日の生活に活気をもたらします。また、あいさつによって自然に笑顔が生まれ、人と人とかかわりの輪が広がるだけでなく、お互いを思いやったり支え合ったりする心が培われていきます。

● 小・中学校の連携を図った活動

(1) 運動会での相互交流

中学校の運動会種目の中に、小学生が参加できる種目を設定し、中学生とともに楽しい時間を過ごしました。また、小学校の運動会にも中学生が参加し、お世話になった先生方や後輩との交流を図りました。



【校区内でのあいさつ運動】

(2) 文化祭での交流

生徒会が作成した中学校の文化祭紹介DVDを小学校の全校生に視聴してもらいました。DVDを見た小学生は、中学校の文化祭にとっても興味をもってくれ、当日、たくさんの小学生が来校し、中学校の文化祭を堪能しました。



【運動会での交流の様子】

〈成果〉

こうした取組を通して小学生は、校内だけでなく交通指導員さんやバスの運転手さんへのあいさつの仕方が変わりました。中学生も朝のあいさつが、校内でのあいさつや地域へのあいさつへと広がっており「中学生はいつもあいさつをよくしてくれます」とたくさんの地域の方々から言っただけようになっていっています。これからも小・中学校の交流を深め、互いに学び合いながら校区内に「あいさつの輪」を広げていきたいと考えています。

高まり